

## 環境に関するアンケート

.....

このたび、環境省では「ツシマヤマネコの保護増殖の取り組み」に関して、その価値を評価するためのアンケート調査を実施することとしました。

なお、アンケートの御回答はすべて統計処理し、個々の調査結果に関しては、一切公表することはありませんので、率直なご意見をお聞かせください。ご多用のところ誠に恐れ入りますが、本アンケート調査の目的をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。本調査は、環境省より業務を受託した、公益財団法人日本生態系協会が実施いたします。

また、当アンケートでは **あなたの世帯年収** についてお伺いする箇所が含まれております。本件趣旨にご同意くださる方は、ご回答をお願いいたします。

回答をしたくないと判断された場合はお手数ですが、「回答をやめる」ボタン、あるいはブラウザを閉じて、アンケートを終了してください。

.....

お忙しいところ恐れ入りますが、下記アンケートにご協力をお願いいたします。

---

### 当アンケートの回答者の皆様へお願い

---

マクロミルモニタの皆様にはモニタ規約にて「調査についての守秘義務」の徹底をお願いしています。

当アンケートの内容および当アンケートで知り得た情報については、決して第三者に口外しないよう（掲示板やホームページへの書き込みを含む）、ご協力をお願いします。

---

#### AC 割付条件設定（回答者には表示されません）

1. グループ1
2. グループ2
3. グループ3
4. グループ4

まず、生きものについてのご意見をお伺いします。

#### Q1 あなたは生きものを飼ったことがありますか。（一つだけお選びください） 【必須入力】

1. 現在、飼っている
2. 現在は飼っていないが、以前は飼っていた
3. これまで飼ったことはない



.....

ここで改ページ

.....

---

あなたは、ネコが好きですか。（一つだけお選びください）

Q2

【必須入力】

1 とても好き	2 好き	3 どちらともいえない	4 あまり好きではない	5 嫌い
------------	---------	----------------	----------------	---------

ここで改ページ

次に長崎県対馬についてお伺いします。

▼ 以下の画像をご覧ください。 ▼

	長崎県に属しています。
	九州北部の玄界灘にあります。
	人口は約 34,000 人です。
	対馬全島が、壱岐島とともに壱岐対馬国定公園に指定されています。
独特の生物相を形成しており、日本では、対馬にしか生息していない生きものも数多くいます。	

Q3

上記は対馬の説明です。

あなたは対馬にしか生息していない生きものがあることについてご存知ですか。(一つだけお選びください)

【必須入力】

1 よく知っている	2 知っている	3 あまりよく知らない	4 知らない
--------------	------------	----------------	-----------

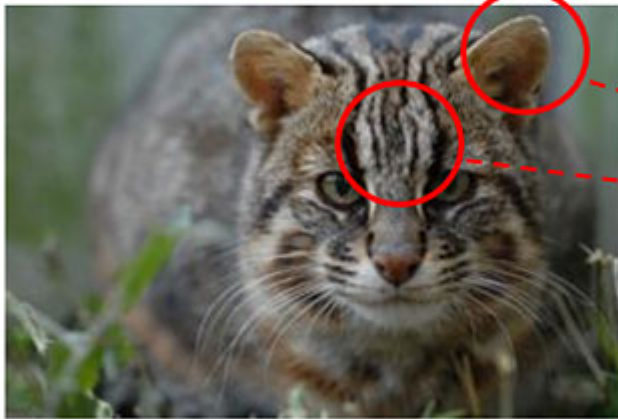
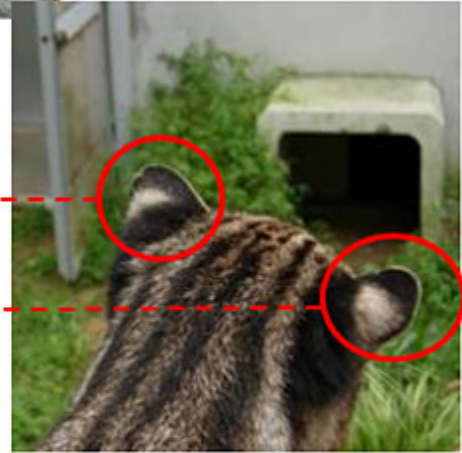
ここで改ページ

▼ 以下の画像をご覧ください。 ▼



大きさはイエネコ(野良ネコやペットのネコ)と同じくらいです。  
胴長短足で、しっぽは太くて長いです。

耳の裏側に虎耳状斑(こじじょうはん)と呼ばれる白い斑点があります。  
これはライオンなど多くの野生のネコ科にみられる特徴です。イエネコ(ペットのネコや野良ネコ)にはほとんどありません。



イエネコ(ペットのネコや野良ネコ)は耳がとがっていますが、ツシマヤマネコの耳の先は丸くなっています。  
また、額には褐色と白色の縞模様があります。

写真出典：対馬野生生物保護センター

#### 【イエネコ(ペットのネコや野良ネコ)との違い】

- ・ あまり鳴くことはありません。「ニャー」ではなく、「ウギャー」などと鳴きます。
- ・ イエネコ(ペットのネコや野良ネコ)は水を怖がりますが、ツシマヤマネコは水を怖がらず、時には川も泳ぎます。
- ・ 警戒心が強く、あまり人になつくことはありません。
- ・ 長崎県の対馬にのみ生息しています。

Q4

上記の資料の生きものの名前は「ツシマヤマネコ」といいます。あなたはこの生きもののことをご存知でしたか。(一つだけお選びください)

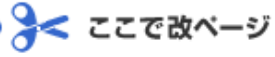
【必須入力】

1  
よく知っている

2  
知っている

3  
あまりよく知らない

4  
知らない



ここで改ページ

対馬に生息するツシマヤマネコは、朝鮮半島や中国、東南アジアに分布するベンガルヤマネコの仲間で、10万年ほど前に大陸とつながっていた対馬が海面の上昇とともに一つの島として切り離されたことで、対馬に取り残されたヤマネコです。

---

▼ 以下の画像をご覧ください。 ▼



ツシマヤマネコ

※長崎県の対馬にのみ生息

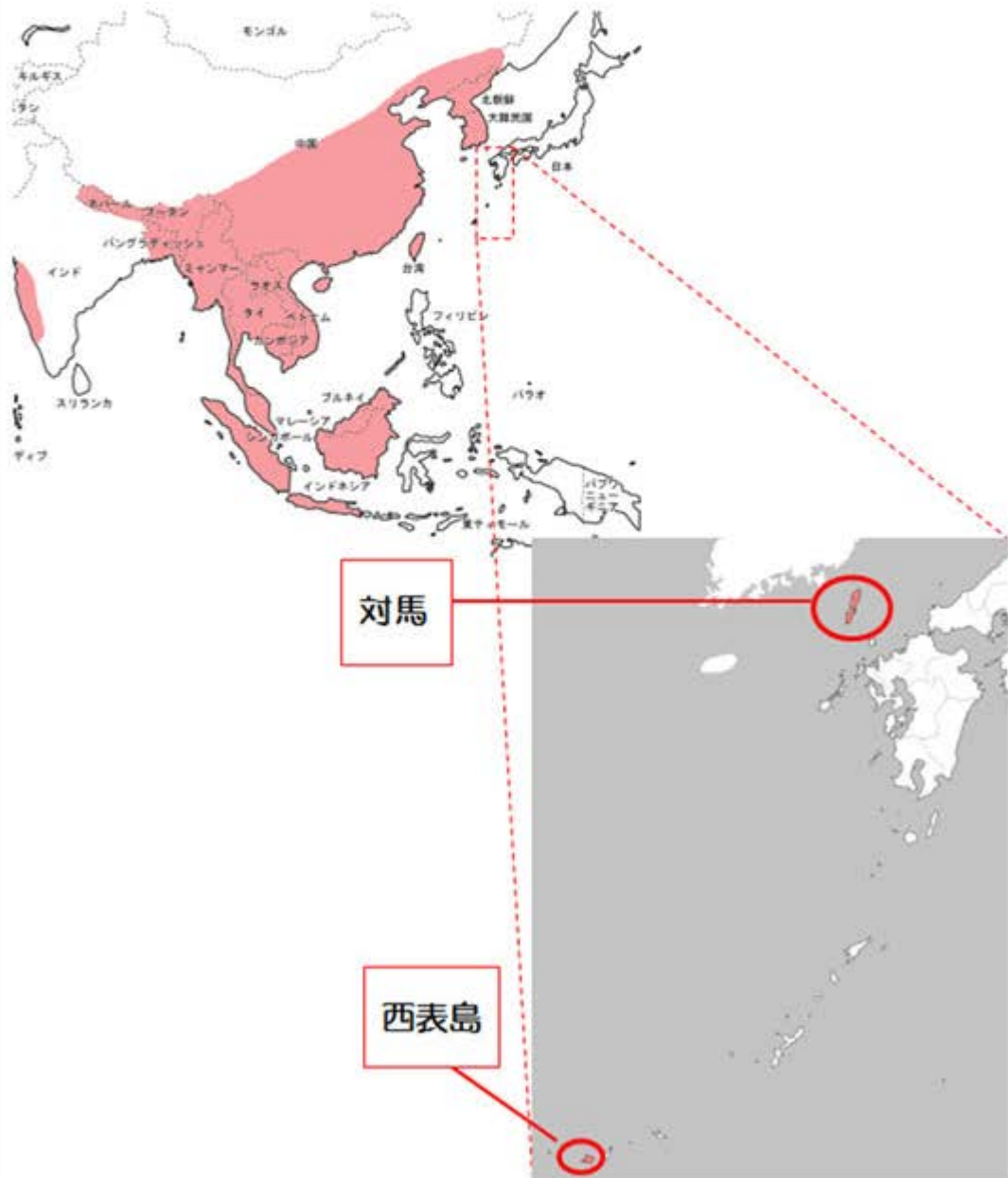
(出典：対馬野生生物保護センター)



イリオモテヤマネコ

※沖縄県の西表島にのみ生息

(出典：西表野生生物保護センター)



ベンガルヤマネコ亜種分布図 (ピンク色部分が分布地)


Q5

日本に生息しているベンガルヤマネコの仲間は、ツシマヤマネコとイリオモテヤマネコの2種類のみです。イリオモテヤマネコは沖縄県の西表島で独自に進化してきた種で、ツシマヤマネコと別の種類の生きものです。

あなたは、日本で対馬にしか生息していない生きものであるツシマヤマネコを守る取り組みを行うことが重要であると思いますか。(一つだけお選びください)

【必須入力】

1 非常に重要だと思う	2 重要だと思う	3 どちらともいえない	4 あまり重要ではないと思う	5 全く重要ではないと思う
----------------	-------------	----------------	-------------------	------------------

 [ここで改ページ](#)

Q6

環境省のレッドリストでは、ツシマヤマネコについて、絶滅危惧種の中でも最も絶滅の危険度が高い生きものを対象とした分類である「絶滅危惧IA類(CR)」に指定しています。

あなたはツシマヤマネコが絶滅の危機に瀕していることをご存知でしたか。(一つだけお選びください)

【必須入力】

1 よく知っている	2 知っている	3 あまりよく知らない	4 知らない
--------------	------------	----------------	-----------

 [ここで改ページ](#)


Q7

絶滅の危機に瀕している希少な野生生物を守るためには、多くの労力とお金が必要です。ツシマヤマネコも国や地方自治体が労力とお金をかけて守っている野生生物の一種です。

あなたはこのように希少な野生動物であるツシマヤマネコを守るために、国や地方自治体が労力とお金をかけることについてどのように思いますか。(一つだけお選びください)

【必須入力】

1 賛成である	2 どちらかといえば賛成である	3 どちらともいえない	4 どちらかといえば反対である	5 反対である
------------	--------------------	----------------	--------------------	------------

 [ここで改ページ](#)

▼ 以下の画像をご覧ください。 ▼



田んぼにいたツシマヤマネコ



森の中で見つかったツシマヤマネコの母子

Q8

ツシマヤマネコは、主によく管理された広葉樹の森にすみ、森のほかに田んぼや畑も餌をとる場所として利用しています。また、「田ネコ」「里ネコ」とも呼ばれるほど、人の生活に近い場所で暮らす生きものです。あなたは、ツシマヤマネコが人の生活の近くで暮らす生きものであることをご存知でしたか。(一つだけお選びください)

【 必須入力 】

1 よく知っている	2 知っている	3 あまりよく知らない	4 知らない
--------------	------------	----------------	-----------



ここで改ページ

次にツシマヤマネコの保護対策についてお伺いします。

▼ 以下の画像をご覧ください。 ▼



とらばさみ(罨)にかかることで傷ついたツシマヤマネコ  
(出典:対馬野生生物保護センター)

**Q9** 対馬にある『対馬野生生物保護センター』では、交通事故や罨によってケガをしたツシマヤマネコの治療やリハビリを行っています。平成9年に対馬野生生物保護センターが開所して以来、平成23年度までにかけて、のべ63頭のツシマヤマネコを保護し、のべ41頭を野生復帰させています。あなたはケガをしたツシマヤマネコを保護し、治療する取り組みを行うことについてどのように思いますか。(一つだけお選びください)

【必須入力】

1 非常に重要だと思う	2 重要だと思う	3 どちらともいえない	4 あまり重要ではないと思う	5 全く重要ではないと思う
----------------	-------------	----------------	-------------------	------------------



**Q10** 野生のツシマヤマネコの数は現在、約100頭(対馬上島の定住成獣個体数)と非常に少なく、急な環境の変化や病気の流行などにより、短期間に絶滅してしまうおそれがあります。そのようなことがないように、動物園などに分散させて飼育しています。現在、日本各地の9施設で、31頭のツシマヤマネコを飼育しています。あなたは、絶滅を防ぐために、一部のツシマヤマネコを動物園などで飼育する取り組みについてどのように思いますか。(一つだけお選びください)

【必須入力】

1 賛成である	2 どちらかといえば賛成である	3 どちらともいえない	4 どちらかといえば反対である	5 反対である
------------	--------------------	----------------	--------------------	------------



**Q11** 野生で生きているツシマヤマネコを守っていくことが基本ですが、ほとんどいなくなってしまった地域には、



動物園や保護施設で繁殖させたツシマヤマネコを、野生で暮らしていけるようにするための訓練をした後で、野生に戻すことも検討されています。

あなたは、動物園などで繁殖させたツシマヤマネコを野生に戻す取り組みについてどのように思いますか。  
(一つだけお選びください)

【必須入力】

1 賛成である	2 どちらかといえば 賛成である	3 どちらともいえない	4 どちらかといえば 反対である	5 反対である
------------	------------------------	----------------	------------------------	------------



ツシマヤマネコの交通事故数は、平成4年に統計を取り始めてから、平成25年11月までに、分かっているだけで78件(うち69頭死亡)となっています。  
平成24年度には、15件(うち13頭死亡)もツシマヤマネコの交通事故が発生してしまいました。

▼ 以下の画像をご覧ください。 ▼

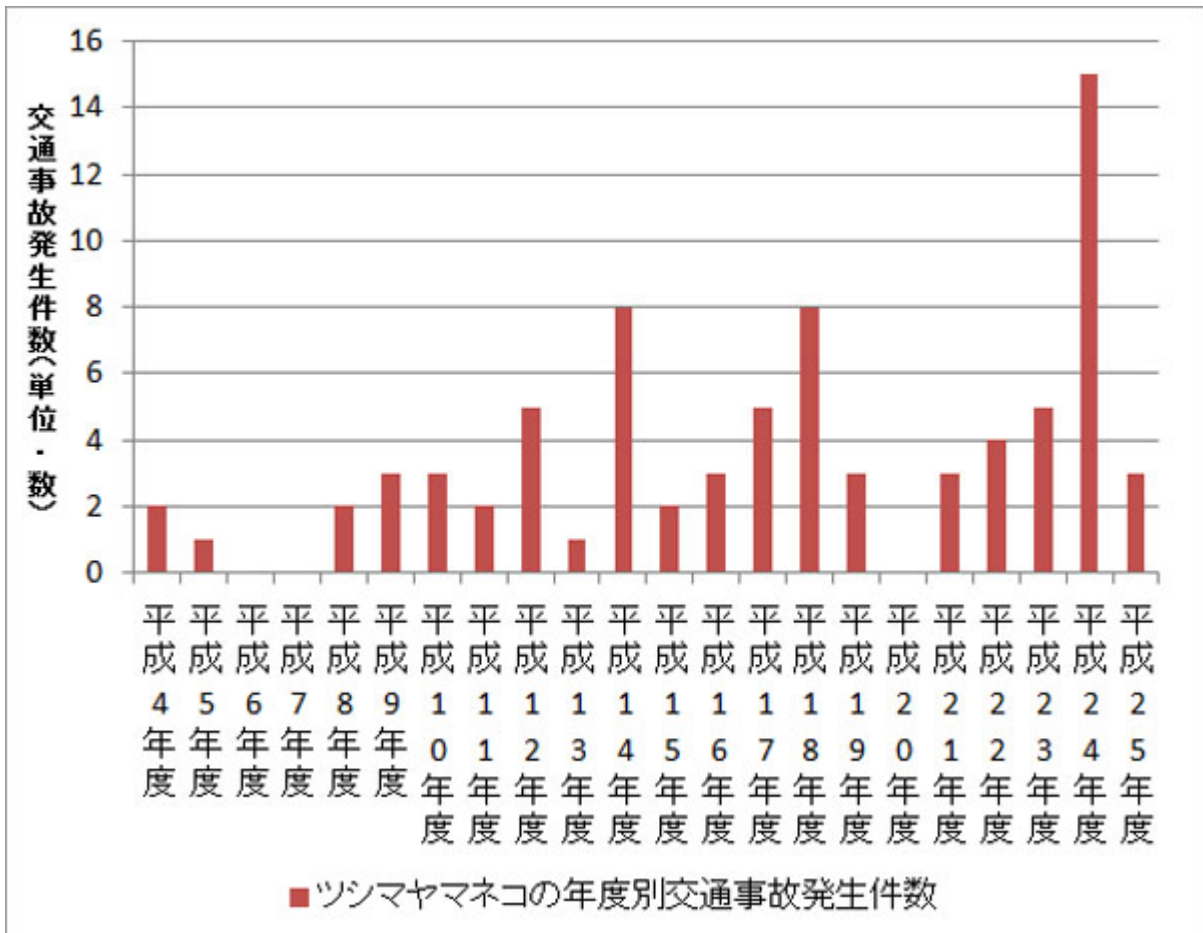


図 ツシマヤマネコの年度別交通事故発生件数  
(対馬野生生物保護センターの資料に基づき作成)

**Q12** あなたは、ツシマヤマネコの数が減少している主な理由の一つが交通事故であることを知っていましたか？  
(一つだけお選びください)

【必須入力】

1 よく知っている	2 知っている	3 あまりよく知らない	4 知らない
--------------	------------	----------------	-----------

▼ 以下の画像をご覧ください。 ▼



(左) ツシマヤマネコが事故に遭わないようにするためのトンネル  
(出典：対馬野生生物保護センター)



(右) ツシマヤマネコが安全に道路を横断できるようにするための道路の下の抜け道  
(出典：平成21年度対馬野生生物保護センター年間活動報告書)

**Q13** ツシマヤマネコが交通事故に遭いにくくするために、道路を改修する際に、ツシマヤマネコが道路上を利用しなくても横断することができる構造にすることについて、あなたは賛成ですか、それとも反対ですか。(一つだけお選びください)

【必須入力】

1 賛成である	2 どちらかといえば 賛成である	3 どちらともいえない	4 どちらかといえば 反対である	5 反対である
------------	------------------------	----------------	------------------------	------------

**Q14** 野良ネコや野良イヌが、ツシマヤマネコにとって脅威になることがあります。平成23年度には、分かっているだけで2頭のツシマヤマネコが、野良ネコによって、かみ殺されています。また、野良ネコを経由して病気に感染したり、同じ餌をめぐる競争し合う関係にあることが分かっています。あなたは、対馬において、野良ネコを増やさないようにするために、捕獲して去勢や避妊を行うことに賛成ですか、それとも反対ですか。(一つだけお選びください)

【必須入力】

1 賛成である	2 どちらかといえば 賛成である	3 どちらともいえない	4 どちらかといえば 反対である	5 反対である
------------	------------------------	----------------	------------------------	------------

Q15

対馬では、シカやイノシシが増加し、森林の下の地面に生える植物などが食べ荒されています。

広葉樹の森がシカやイノシシによって荒らされてしまうと、森を棲みかとするツシヤママネコは、暮らしていくことができなくなります。

あなたは、ツシヤママネコの暮らしやすい環境を維持するため、シカやイノシシを罠などにより捕獲し、適正な数で管理する対策を実施することに賛成ですか、それとも反対ですか。(一つだけお選びください)

【必須入力】

1 賛成である	2 どちらかといえば 賛成である	3 どちらともいえない	4 どちらかといえば 反対である	5 反対である
------------	------------------------	----------------	------------------------	------------

Q16

ツシヤママネコが野生で暮らしていくためには、餌場やねぐらなど、ツシヤママネコが暮らしていける場所を守ることが必要です。

あなたは、ツシヤママネコが暮らしていける場所を守るために、土地を購入して、自然保護区を作る取り組みについて賛成ですか、それとも反対ですか。(一つだけお選びください)

【必須入力】

1 賛成である	2 どちらかといえば 賛成である	3 どちらともいえない	4 どちらかといえば 反対である	5 反対である
------------	------------------------	----------------	------------------------	------------

対馬は、大きくは上島(かみじま)と下島(しもじま)に分かれています。

▼ 以下の画像をご覧ください。 ▼

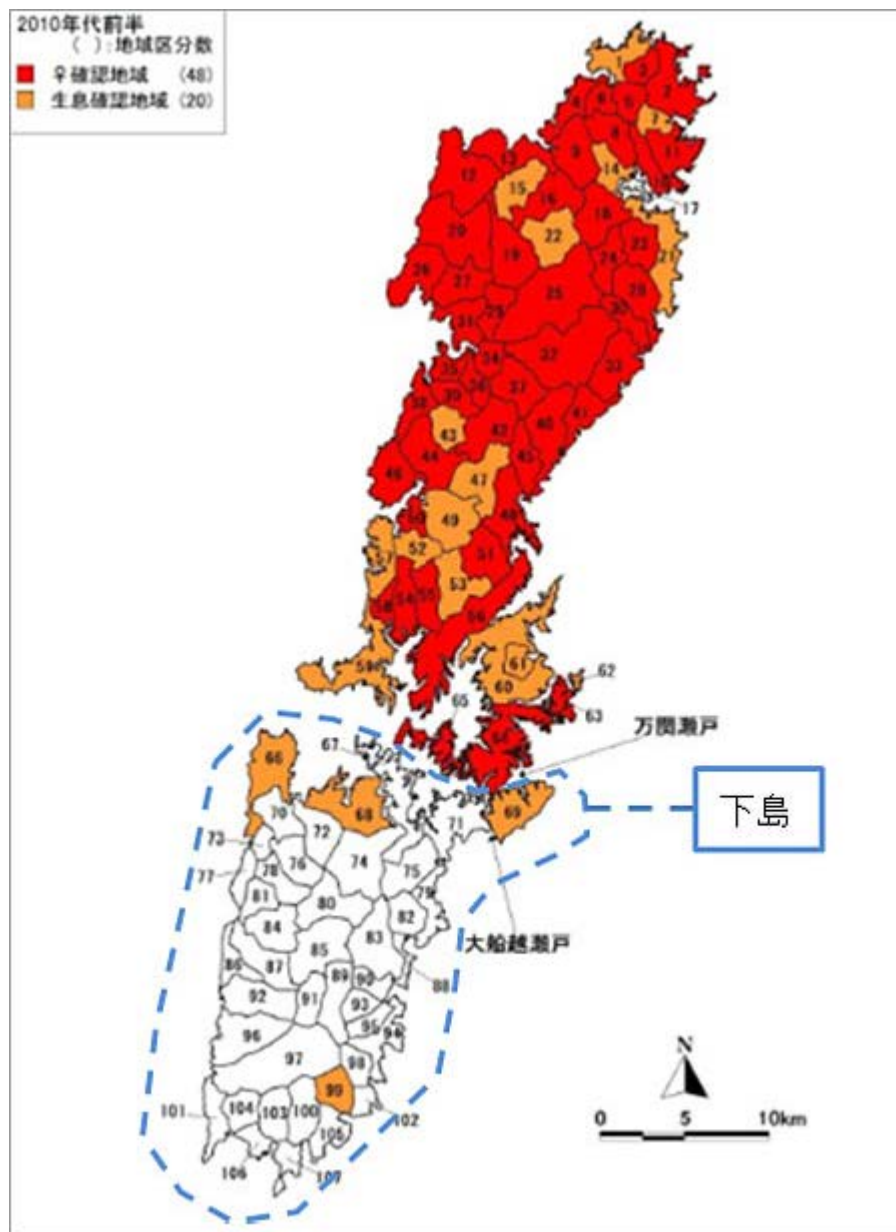


図 下島の範囲と、対馬におけるツシマヤマネコの分布状況  
(青の点線の範囲内が下島地域)

**Q17** 近年はツシマヤマネコはほとんどが上島で見つかっており、下島で目撃例はわずかです。あなたは下島でもツシマヤマネコを増やしていくことが重要であると思いますか。(一つだけお選びください)  
【必須入力】

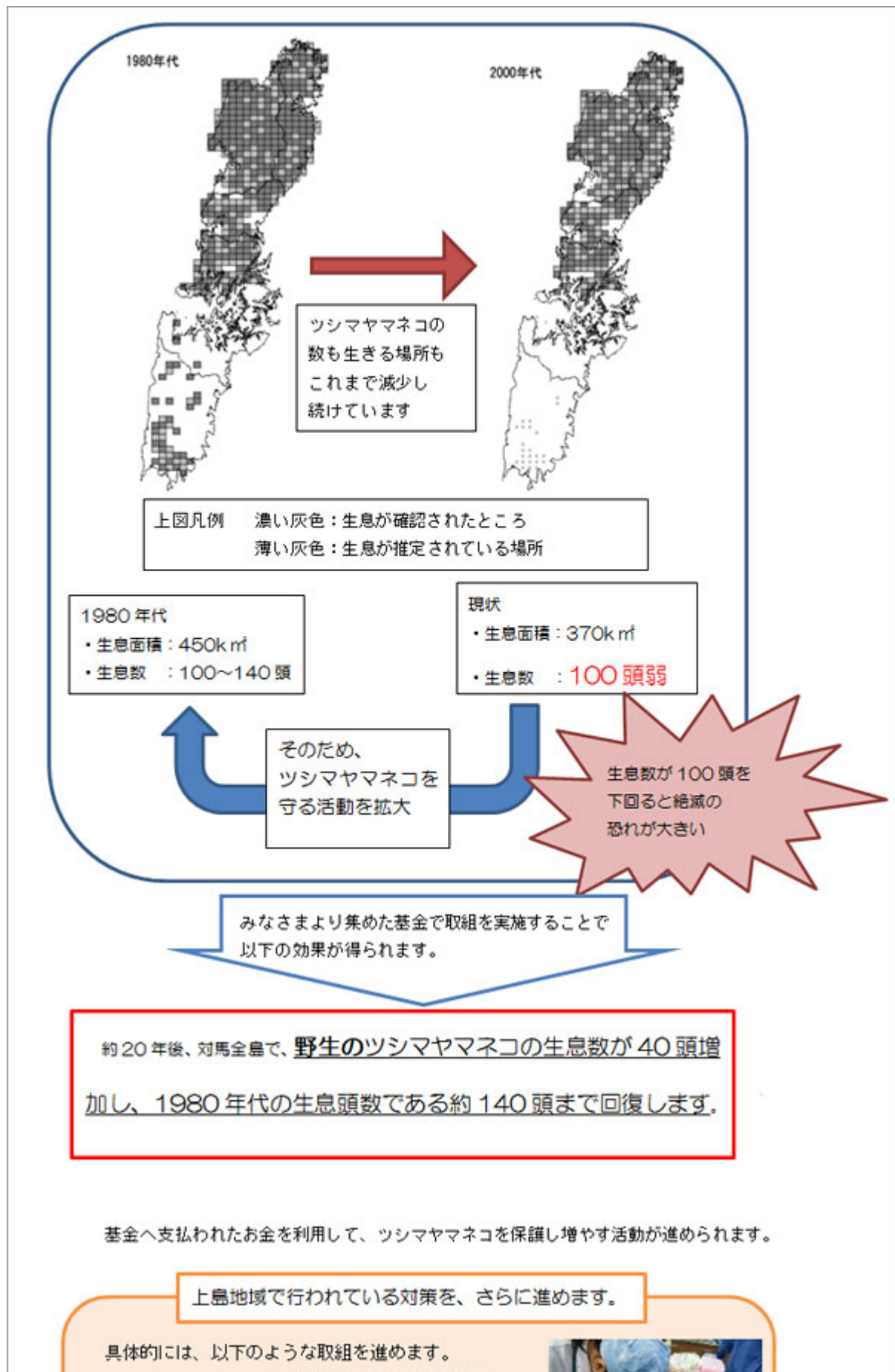
1 非常に重要だと思う	2 重要だと思う	3 どちらともいえない	4 あまり重要ではないと思う	5 全く重要ではないと思う
----------------	-------------	----------------	-------------------	------------------



▼ 以下の説明をご覧ください。 ▼

ここからは仮の質問です。  
ツシマヤマネコの絶滅を防ぐためには、生息数を増やす対策が必要です。  
そこで、野生のツシマヤマネコの生息数を増やすために、  
新たに「ツシマヤマネコ保全基金」を設置して、皆さんから募金を集めることとします。

この基金への支払いにより、20年後の時点で野生のツシマヤマネコの生息数は、現在よりも約40頭増加し、1980年代の生息数である約140頭まで回復するものとします。  
集められた基金は、野生のツシマヤマネコの生息数を増やすためだけに使われるものとします。  
この支払いにより、あなたの世帯の自由に使えるお金が、支払った分だけ少なくなると想定してお考えください。



- ・ ツシマヤマネコが住める森や出畑の管理
- ・ 交通事故対策
- ・ ケガをしたツシマヤマネコの治療とリハビリ
- ・ 野良イヌや野良ネコの捕獲
- ・ シカやイノシシの駆除
- ・ ツシマヤマネコの生息に適した森の買い取り



治療の様子

ほか

現在、上島地域で行われている保護対策を、下島地域にも拡大します



これまで上島で行われてきた保護対策



ツシマヤマネコ保護の取組を対馬全体に広げます

下島においてツシマヤマネコの野生復帰を行います

動物園などで繁殖させるなどしたツシマヤマネコを下島地域で野生復帰させる取組を進めます



野生復帰の様子

Q18

ツシマヤマネコが生きていくことのできる面積を増やすことで、野生のツシマヤマネコの数を増やすために、仮にあなたの世帯に年間 **500円**のお金を支払っていただく必要があるとします。毎年同じ金額を支払っていただくものとし、支払は10年間継続するものとします。あなたは、ツシマヤマネコを守るために年間 **500円**を支払ってもかまいませんか。(一つだけお選びください)

【必須入力】

1  
はい

2  
いいえ

●●●●●●●●●●  ここで改ページ ●●●●●●●●●●

Q19

前の質問で「はい」と回答した方にお伺いします。年間**1,000円**支払うとすれば、あなたは同意しますか。(一つだけお選びください)

【必須入力】

1  
はい

2  
いいえ

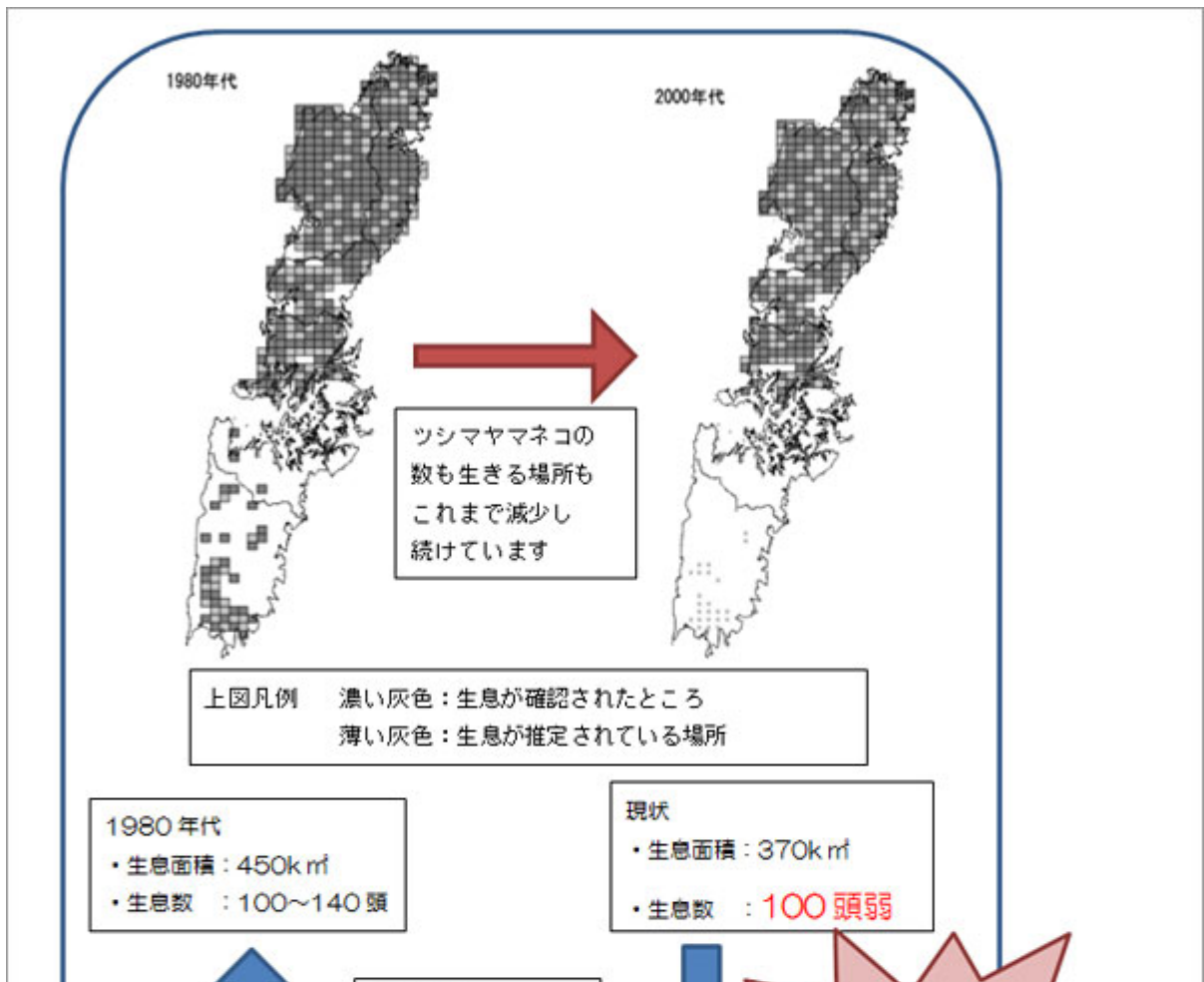
Q20

前の質問で「いいえ」と回答した方にお伺いします。  
 年間**100円**支払うとすれば、あなたは同意しますか。(一つだけお選びください)  
**【必須入力】**

1 はい	2 いいえ
---------	----------

▼ 以下の説明をご覧ください。 ▼

ここからは仮の質問です。  
 ツシマヤマネコの絶滅を防ぐためには、生息数を増やす対策が必要です。  
 そこで、野生のツシマヤマネコの生息数を増やすために、  
 新たに「ツシマヤマネコ保全基金」を設置して、皆さんから募金を集めることとします。  
 この基金への支払いにより、**20年後の時点で野生のツシマヤマネコの生息数は  
 現在よりも約40頭増加し、1980年代の生息数である約140頭まで回復するものとします。**  
 集められた基金は、野生のツシマヤマネコの生息数を増やすためだけに使われるものとします。  
 この支払いにより、あなたの世帯の自由に使えるお金が、  
 支払った分だけ少なくなると想定してお考えください。



そのため、  
ツシマヤマネコを  
守る活動を拡大

生息数が100頭を  
下回ると絶滅の  
恐れが大きい

みなさまより集めた基金で取組を実施することで  
以下の効果が得られます。

約20年後、対馬全島で、**野生のツシマヤマネコの生息数が40頭増加し、1980年代の生息頭数である約140頭まで回復します。**

基金へ支払われたお金を利用して、ツシマヤマネコを保護し増やす活動が進められます。

上島地域で行われている対策を、さらに進めます。

具体的には、以下のような取組を進めます。

- ・ ツシマヤマネコが住める森や田畑の管理
- ・ 交通事故対策
- ・ ケガをしたツシマヤマネコの治療とリハビリ
- ・ 野良イヌや野良ネコの捕獲
- ・ シカやイノシシの駆除
- ・ ツシマヤマネコの生息に適した森の買い取り



治療の様子

ほか

現在、上島地域で行われている保護対策を、下島地域にも拡大します



これまで上島で行われてきた  
保護対策

基金への支払い



ツシマヤマネコ保護の取組  
を対馬全体に広げます

下島においてツシマヤマネコの野生復帰を行います

動物園などで繁殖させるなどした  
ツシマヤマネコを下島地域で野生  
復帰させる取組を進めます



野生復帰の様子



**Q21** ツシマヤマネコが生きていくことのできる面積を増やすことで、野生のツシマヤマネコの数を増やすために、仮にあなたの世帯に年間 **1,000円** のお金を支払っていただく必要があるとします。毎年同じ金額を支払っていただくものとし、支払は10年間継続するものとします。あなたは、ツシマヤマネコを守るために年間 **1,000円** を支払ってもかまいませんか。(一つだけお選びください)  
**【必須入力】**

1 はい	2 いいえ
---------	----------

ここで改ページ

**Q22** 前の質問で「はい」と回答した方にお伺いします。年間**3,000円**支払うとすれば、あなたは同意しますか。(一つだけお選びください)  
**【必須入力】**

1 はい	2 いいえ
---------	----------

ここで改ページ

**Q23** 前の質問で「いいえ」と回答した方にお伺いします。年間**500円**支払うとすれば、あなたは同意しますか。(一つだけお選びください)  
**【必須入力】**

1 はい	2 いいえ
---------	----------

ここで改ページ

▼ 以下の説明をご覧ください。 ▼

ここからは仮の質問です。  
 ツシマヤマネコの絶滅を防ぐためには、生息数を増やす対策が必要です。  
 そこで、野生のツシマヤマネコの生息数を増やすために、新たに「ツシマヤマネコ保全基金」を設置して、皆さんから募金を集めることとします。  
 この基金への支払いにより、**20年後の時点で野生のツシマヤマネコの生息数は、現在よりも約40頭増加し、1980年代の生息数である約140頭まで回復するものとします。**  
 集められた基金は、野生のツシマヤマネコの生息数を増やすためだけに使われるものとします。  
 この支払いにより、あなたの世帯の自由に使えるお金が、支払った分だけ少なくなると想定してお考えください。





ツシマヤマネコの  
数も生きる場所も  
これまで減少し  
続けています

上図凡例 濃い灰色：生息が確認されたところ  
薄い灰色：生息が推定されている場所

1980年代  
・生息面積：450k㎡  
・生息数：100~140頭

現状  
・生息面積：370k㎡  
・生息数：100頭弱

そのため、  
ツシマヤマネコを  
守る活動を拡大

生息数が100頭を  
下回ると絶滅の  
恐れが大きい

みなさまより集めた基金で取組を実施することで  
以下の効果が得られます。

約20年後、対馬全島で、**野生のツシマヤマネコの生息数が40頭増**  
**加し、1980年代の生息頭数である約140頭まで回復します。**

基金へ支払われたお金を利用して、ツシマヤマネコを保護し増やす活動が進められます。

上島地域で行われている対策を、さらに進めます。

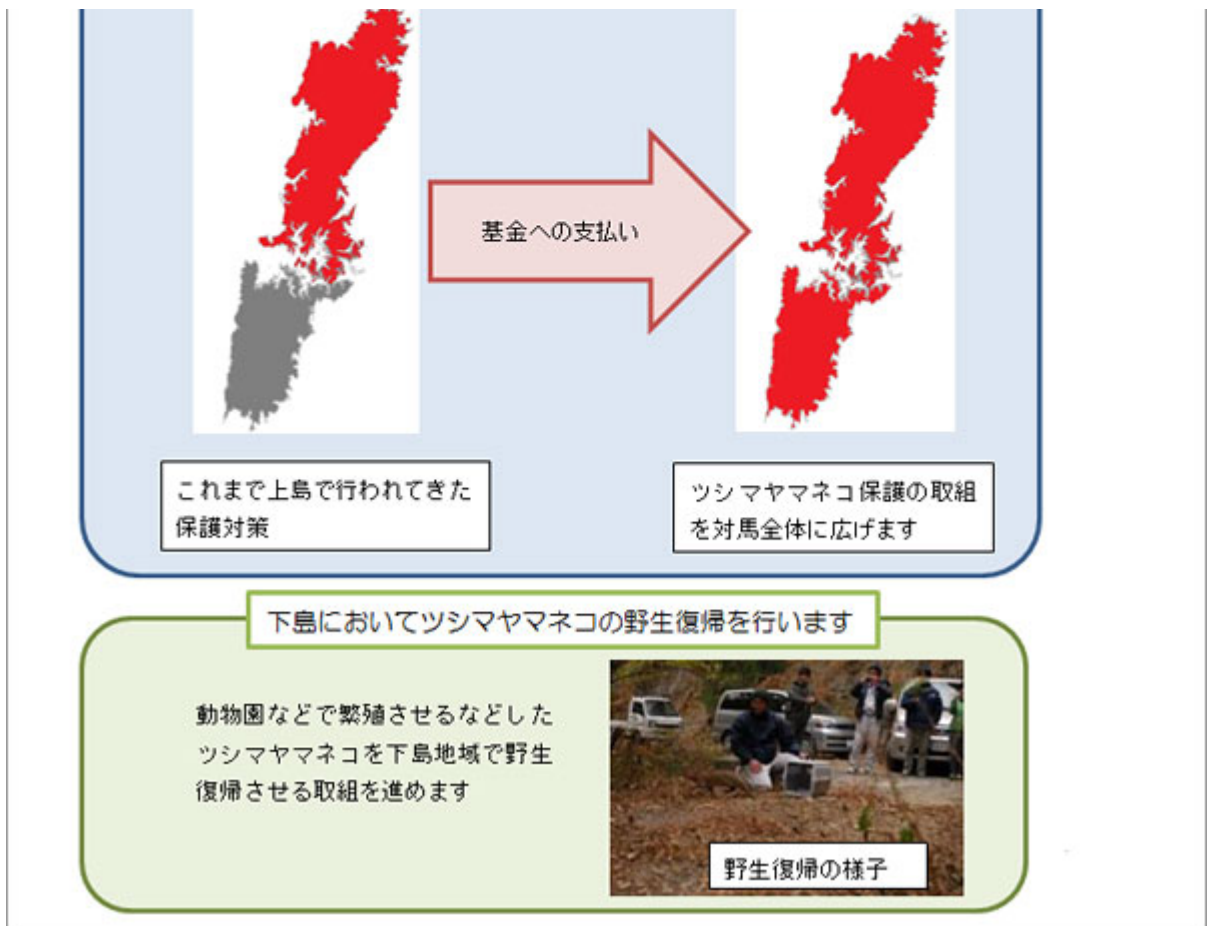
具体的には、以下のような取組を進めます。

- ・ ツシマヤマネコが住める森や田畑の管理
- ・ 交通事故対策
- ・ ケガをしたツシマヤマネコの治療とリハビリ
- ・ 野良イヌや野良ネコの捕獲
- ・ シカやイノシシの駆除
- ・ ツシマヤマネコの生息に適した森の買い取り



治療の様子  
ほか

現在、上島地域で行われている保護対策を、下島地域にも拡大します



**Q24** ツシマヤマネコが生きていくことのできる面積を増やすことで、野生のツシマヤマネコの数を増やすために、仮にあなたの世帯に年間 **3,000円**のお金を支払っていただく必要があるとします。毎年同じ金額を支払っていただくものとし、支払は10年間継続するものとします。あなたは、ツシマヤマネコを守るために年間 **3,000円**を支払ってもかまいませんか。(一つだけお選びください)  
**【必須入力】**

1 はい	2 いいえ
---------	----------



**Q25** 前の質問で「はい」と回答した方にお伺いします。年間**7,000円**支払うとすれば、あなたは同意しますか。(一つだけお選びください)  
**【必須入力】**

1 はい	2 いいえ
---------	----------



**Q26** 前の質問で「いいえ」と回答した方にお伺いします。年間**1,000円**支払うとすれば、あなたは同意しますか。(一つだけお選びください)  
**【必須入力】**

1 はい	2 いいえ
---------	----------



ここで改ページ

▼ 以下の説明をご覧ください。 ▼

ここからは仮の質問です。

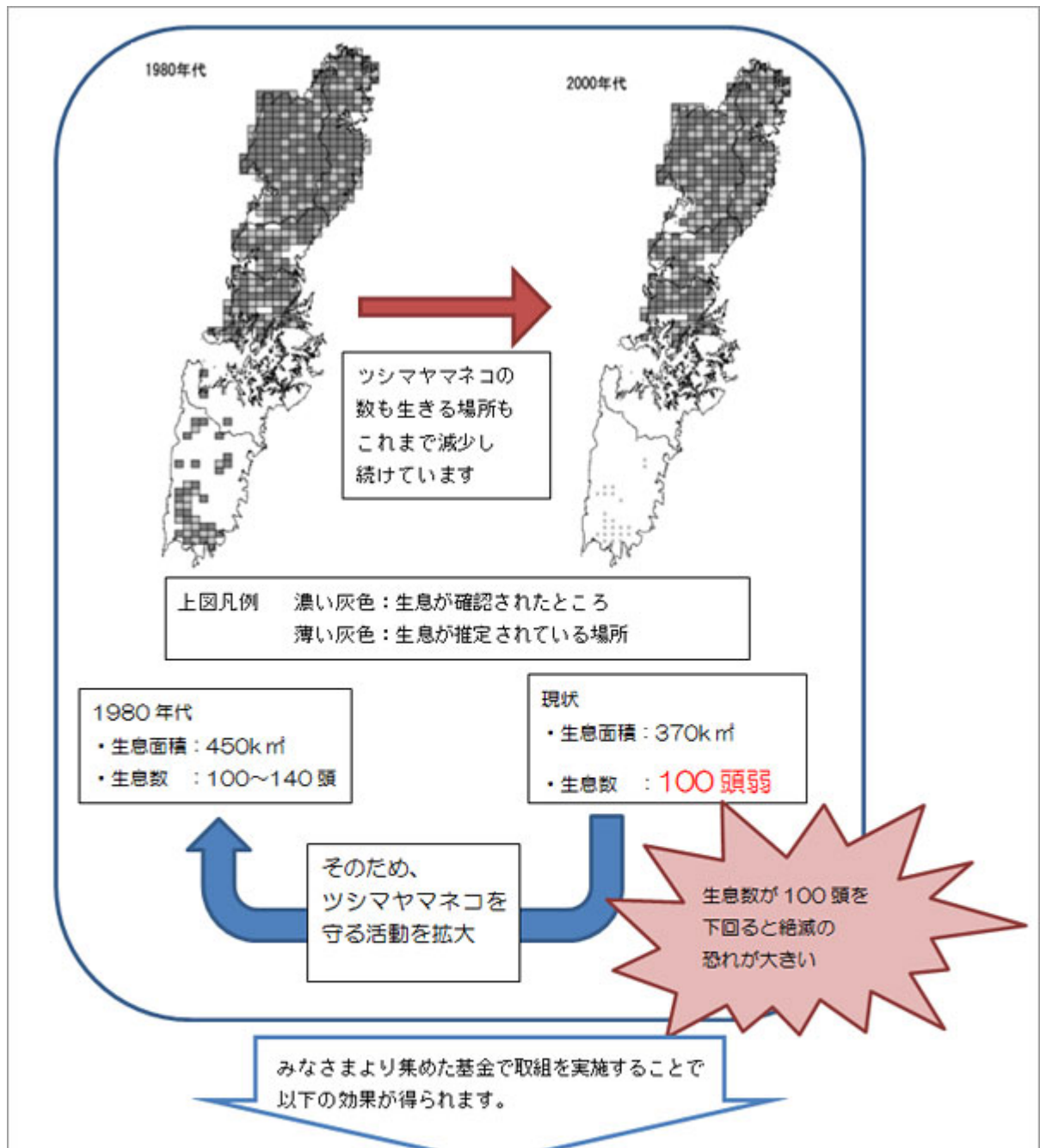
ツシマヤマネコの絶滅を防ぐためには、生息数を増やす対策が必要です。

そこで、野生のツシマヤマネコの生息数を増やすために、新たに「ツシマヤマネコ保全基金」を設置して、皆さんから募金を集めることとします。

この基金への支払いにより、20年後の時点で野生のツシマヤマネコの生息数は  
現在よりも約40頭増加し、1980年代の生息数である約140頭まで回復するものとします。

集められた基金は、野生のツシマヤマネコの生息数を増やすためだけに使われるものとします。

この支払いにより、あなたの世帯の自由に使えるお金が、支払った分だけ少なくなると想定してお考えください。



約20年後、対馬全島で、**野生のツシヤママネコの生息数が40頭増加し、1980年代の生息頭数である約140頭まで回復します。**

基金へ支払われたお金を利用して、ツシヤママネコを保護し増やす活動が進められます。

上島地域で行われている対策を、さらに進めます。

具体的には、以下のような取組を進めます。

- ・ ツシヤママネコが住める森や田畑の管理
- ・ 交通事故対策
- ・ ケガをしたツシヤママネコの治療とリハビリ
- ・ 野良イヌや野良ネコの捕獲
- ・ シカやイノシシの駆除
- ・ ツシヤママネコの生息に適した森の買い取り



治療の様子

ほか

現在、上島地域で行われている保護対策を、下島地域にも拡大します



これまで上島で行われてきた保護対策

基金への支払い



ツシヤママネコ保護の取組を対馬全体に広げます

下島においてツシヤママネコの野生復帰を行います

動物園などで繁殖させるなどしたツシヤママネコを下島地域で野生復帰させる取組を進めます



野生復帰の様子

Q27

ツシヤママネコが生きていくことのできる面積を増やすことで、野生のツシヤママネコの数を増やすために、仮にあなたの世帯に年間 **7,000円**のお金を支払っていただく必要があるとします。

毎年同じ金額を支払っていただくものとし、支払は10年間継続するものとします。

あなたは、ツシヤママネコを守るために年間 **7,000円**を支払ってもかまいませんか。(一つだけお選びください)

【必須入力】

1 はい
---------

2 いいえ
----------



Q28

前の質問で「はい」と回答した方にお伺いします。

年間15,000円支払うとすれば、あなたは同意しますか。(一つだけお選びください)

【必須入力】

1 はい
---------

2 いいえ
----------



Q29

前の質問で「いいえ」と回答した方にお伺いします。

年間3,000円支払うとすれば、あなたは同意しますか。(一つだけお選びください)

【必須入力】

1 はい
---------

2 いいえ
----------



Q30

ここまでで、支払っても構わない金額として一度でも「はい」とお答えになった方にお伺いします。その理由はなんですか。1つをお選びください。(一つだけお選びください)

【必須入力】

1. 絶滅の危機に瀕しているツシマヤマネコを守りたいと思うから
2. 対馬の自然を守りたいと思うから
3. ツシマヤマネコに限らず、世の中の役に立つことにお金を支払うのはよいことだと思うから
4. その他



Q31

ここまでで支払ってもよい金額として2回とも「いいえ」とお答えになった方にお伺いします。その理由はなんですか。1つをお選びください。(一つだけお選びください)

【必須入力】

1. ツシマヤマネコを守る必要はあると思うが、この金額を出すほどではないから
2. ツシマヤマネコを保護する必要はないと思うから
3. ツシマヤマネコを守る必要はあると思うが、自分が支払う必要はないと思うから
4. 基金でお金を集めることに反対だから
5. ツシマヤマネコに魅力を感じないから
6. その他





写真 ツシマヤマネコ米  
出典：佐護ヤマネコ稲作研究会

Q34

現在、対馬では、ツシマヤマネコにとって住みよい環境を守るために、減農薬あるいは無農薬でお米を栽培し、ツシマヤマネコ米として販売する取り組みが始まっています。こうした取り組みにより、ツシマヤマネコのエサとなるネズミやカエルなどが増え、ツシマヤマネコが暮らしやすくなります。

ツシマヤマネコ米は、5kg・1袋、3,000円（税込・送料別）で販売されており、お米の売り上げの一部は、ツシマヤマネコの保護に使われています。

あなたは『ツシマヤマネコ米』を購入したいと思いますか。（ひとつだけ）

【必須入力】

1. 購入したい
2. どちらかといえば購入したい
3. どちらかといえば購入したくない
4. 購入したいとは思わない
5. わからない



Q35

前の質問で「購入したい」「どちらかといえば購入したい」と回答した方にお伺いします。  
ツシマヤマネコ米をどのように購入したいと思いますか。(いくつでも)

【必須入力】

1. 通信販売で購入したい(インターネット通販も含む)
2. 店頭で見かけた場合に購入したい
3. 対馬に行った時にお土産として購入したい
4. その他

Q36

前の質問で、「どちらかといえば購入したくない」「購入したいとは思わない」と回答した方にお伺いします。  
ツシマヤマネコ米を購入したくないと考える理由をお答えください。(いくつでも)

【必須入力】

1. 味がわからないから
2. 値段が高いから
3. 普段自分でお米を購入していないから
4. 普段食べているお米と産地が異なるから
5. 近くに売っている場所がないから
6. ツシマヤマネコに興味がないから
7. その他

次にあなた自身とあなたのご家族についておたずねします。

Q37

あなたと同居しているご家族はあなたも含めて何人ですか。(一つだけお選びください)

【必須入力】

1. 1人(同居している家族はいない)
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人
6. 6人
7. それ以上          人 (半角数字)

Q38

あなたのご職業を教えてください。(一つだけお選びください)

【必須入力】

1. 会社員
2. 公務員
3. 農林漁業
4. 自営業
5. 団体職員
6. 専門学校生・大学生・大学院生
7. 学生(高校生以下)
8. パート、アルバイト、フリーター
9. 年金生活者

10. 主夫・主婦

11. 無職

12. その他



ここで改ページ

Q39

あなたの世帯の年収は、税込みでだいたいどれくらいですか。(一つだけお選びください)

【必須入力】

1. 200万円未満
2. 200万円以上400万円未満
3. 400万円以上600万円未満
4. 600万円以上800万円未満
5. 800万円以上1,000万円未満
6. 1,000万円以上1,200万円未満
7. 1,200万円以上1,500万円未満
8. 1,500万円以上

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。  
回答もれがないか確認し、よろしければ「送信」ボタンをクリックしてください。